

安芸中・高校

## 同窓会だより

第33号

同窓会事務局発行

H27.2.26



## ご挨拶

同窓会会長

半田久米夫

高知県立安芸中学校、高等学校同窓生のみなさん、益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より本会の運営、活動にご協力、ご支援いただいておりますことに感謝いたします。

昨年七月の同窓会総会で、はからずも会長に選任されたばかりで、これといった役割を果たせていないことを恥じています。安芸高を卒業して六十年近い歳月が過ぎました。私の在学中は、新制高校になって間もなく、まだ、旧制中、女学校の名残がこちらこちらに見られました。古い男子寄宿舎の建物、旧制女学校の校舎の女子寮で朝夕の食事をとり、授業も南舎、北舎と分かれています。同世代の卒業生には、懐かしい思い出が去来していることでしょう。

進学、就職と忙しさにまぎれ、同窓会への参加もしないまま年齢を重ねてきたものです。それが、五、六年前から高知支部長、そして本部同窓会会長に選ばれ、母校との関わりを深くしていきますが、各種会合で先輩や同級生らと顔を合わす度に、同窓生と

いう繋がりやの尊さを実感している昨今です。

言うまでもなく、同窓会は母校を通じてお互いが絆を強め、母校の発展を願ひ、後輩達を激励することにあると思います。しかし、会の運営や支部、本部総会への参加者の減少など、課題が山積しています。とりわけ、若年層の同窓会への参加が少ないことは本校に限りませんが、大きな悩みでもあります。

世代を問わず参加者を増やすためには、役員や世話人の構成、「参加して良かった」と思われるような総会のプログラムの工夫も検討しなければなりません。その試みの一つとして今年七月の総会では、昭和三十九年春の全国高校野球選抜大会に甲子園出場を果たした往年の選手達によるシンポジウムを実施し、当時は懐かしみ、後輩を激励する計画を進めています。この他、親善ゴルフ大会や著名人の講演会等を通じて同窓生の輪を広げては、との話も出ています。

本部、関東、中部、関西の各支部とも同

窓会の充実と、存在感を高めるよう努力することが、私達役員に課せられた責務だとの認識を強くして取り組みたいと思いますので、ご支援、ご協力をお願いします。最後に、安芸中・高校の在校生達の現況をご報告します。中高一貫教育の成果は学業だけでなく、人づくりにも大いに役立つ

## 平成二十六年年度 同窓会総会開催される

平成二十六年七月二十六日(土)安芸市ホテルタマイにおいて、本年度同窓会本部総会が開催されました。

総会に先立ち、医療法人柏葉会 柏戸病院理事長 柏戸正英氏(第二回昭和二十六年卒)を講師にお招きし、「一最期まで自分らしく生きる」と題してご講演をいただきました。柏戸氏は長年、本校東京支部同窓会会長を務められ、関東圏の各界で活躍する同窓生のまとめ役として尽力されてきました。今回は、千葉市に拠点を置き、千葉県を代表する総合病院として地域医療に貢献する医療法人柏葉会の経営者でもあり、ドクターでもある立場から、老後の豊かな人生を、家族や周辺の人々とどう過ごしていくのか、超高齢社会を迎え、終末期医療に対してどう臨んでいくのか、訪問看護や居宅介護支援などの現状と未来について家族間の諸課題も踏まえ、示唆に富んだ貴重なお話をいただきました。

総会では、審議の冒頭、山崎会長の死去以来、欠員となっていた新会長の選任が行われ、五月開催の同窓会本部常任理事会、六月開催の同理事会で承認された人事案が、本部事務局より提案され、新会長に半

田久米夫氏(第七回昭和三十一年卒)が満場一致で選任されました。ひきつづき、平成二十五年年度会務報告、經常会計並びに特別会計決算報告が事務局から行われた後、平成二十六年年度事業計画、經常会計予算並びに特別会計予算等の審議が行われた承されました。

本会は、長澤副会長挨拶の後、冒頭、我が章副会長が議長を務め、東京同窓会の柏戸正英会長、近畿支部同窓会の水上忠義支部長、高知支部同窓会の東博幸事務局長にご挨拶をいただいた後、選出された半田新会長によつて議事が進められました。懇親の席では旧制安芸中、安芸高等女学校、安芸高校歌を合唱し、母校安芸高の今後益々の発展を願って参加者一同力いっぱい声でエールを送るなど、同窓の旧交を温め盛会の内に終了しました。

おわりに、記念講演講師として事務局からの依頼を快諾いただき、母校安芸高に深い愛情と感謝の心をもって講演していただいた東京支部同窓会会長の柏戸正英氏に本誌からも心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

総会日程

平成26年7月26日(土) 午後2時30分  
・安芸市 ホテルタマイ

講演

演題 「最期まで自分らしく生きる」

講師

柏戸 正英氏(第二回昭和二十六年卒)

総会

1 開会挨拶

2 副会長挨拶

3 学校長挨拶

4 各支部役員挨拶

5 議案

第一号議案 会長選任に関する件

第二号議案 平成25年度会務報告の件

第三号議案 平成25年度経常会計並びに特別会計決算報告の件

第四号議案 監査報告の件

第五号議案 平成26年度事業計画(案)の件

第六号議案 平成26年度経常会計予算(案)並びに特別会計予算(案)の件

第七号議案 その他

6 閉会挨拶

懇親会 総会終了後開催



半田久米夫  
新会長



水上忠義  
近畿支部長



東博幸  
高知支部事務局長



柏戸正英  
東京同窓会長

同窓会総会記念講演

演題 「最期まで自分らしく生きる」

講師 医療法人柏葉会柏戸病院理事長 柏戸 正英氏  
(高校第二期生・昭和二十六年卒業)

演題要旨

私は兵庫県神戸市で生まれ、小学六年生まで現在の新幹線の新神戸駅近くの雲中小学校に通っていました。戦時中のことで疎開があり、母が安芸、父が井ノ口出身という縁で、昭和19年9月に井ノ口小学校に転校して来ました。その翌年、安芸中学校に入学しましたが、ちょうど戦争末期の大変な時でした。その後、高校を卒業し千葉大学の医学部に入学しました。昭和36年に結婚し、その翌年父が亡くなりましたので、家内の籍である柏戸姓を名乗り、病院を継ぐことになりました。それから50年余りになりますが、病院は耐震工事の問題もあり、国の補助を受けて昨年の12月に改築し、現在は新しい建物で診療しています。

今日は、「最期まで自分らしく生きる」というテーマで制作したDVDをご覧いただき、お話ししたいと思います。これは、千葉大学や千葉県の介護施設や薬剤師といった関係機関の方々の協力を得て制作したものです。人間は、60を過ぎますと、「人間いつかは死ななければならぬ、これからどう生きていこうか、最期の時をどのように過ごしたらいいか」と、自分の行く末を考えるようになってまいります。今回の講演がそうした終末期について考える一つの参考になればと思います。

DVDあらずし  
私には、今年90歳になる父がいる。二度脳梗塞で倒れ、その後遺症で右半身麻痺になってしまったが、日常生活にはさほど支障はない。ケアマネージャーからの提案で、週二回デイサービスに通いながら、母と二人で生活している。とは言え、私は結婚し遠方に住んでいるので、今後また発作が起きたらどうしようと心配もしている。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、千葉県における65歳以上の人口割合は、2010年で21.5%であるのに対し、2040年には36.5%と、今後30年でおおよそ1.5倍に増加することが見込まれる。

昨今、人生の最期をどのように過ごすかについて、関心が高まっている。超高齢社会を迎え、認知症や一人暮らしの高齢者が増加する中で、一人ひとりが自分の人生の終わりの時期を、どのようにして過ごすかを考えることが非常に重要になる。



講師 柏戸 正英氏

を望まない」、または「どちらかというところを望まない」と回答した。父が三度目の発作を起こした。自分で歩くことができなくなり、言語障害のため、意思の疎通が難しくなり介助が必要になった。しかし、一ヶ月を過ぎた頃、医師から退院の話があり、療養施設や介護施設、自宅でもいろいろなサービスが受けられることを教えてもらった。

自宅に帰って療養生活を続ける場合には、退院前に入院先の担当医師や看護師、リハビリスタッフにどのようなサービスを受けたいかを相談する。病院によっては退院前に、病院関係者の他、ケアマネージャーや自宅での生活を支える医療・介護サービスの関係者、患者、家族が一堂に集まり、退院調整会議を開く。退院調整会議では、医師や看護師、リハビリの専門職やソーシャルワーカーがそれぞれの専門職の立場から、自宅で療養生活を送る場合に必要となるサービスや留意すべきことが話される。調整会議が開催されない場合や一人暮らしの場合などには、市区町村や地域包括支援センターに、自宅で療養する場合に受けられる医療や介護などのサービスについて相談できる。

在宅療養を続ける上で利用できる主なサービスには、次のようなものがある。「訪問診療」とは、退院が困難な患者や高齢者の自宅に医師が訪問し、計画的に健



康管理を行うサービス。在宅での医療的なケアには、「喀痰の吸引」、「褥瘡の処置」、「排尿の管理」、「酸素療法」、「気管切開の管理」、「経管栄養」、「高カロリー輸液」などがある。また、「人口呼吸器の管理」や「がんの疼痛管理」、「看取り」など、難しい医療処置も行われ、自宅でも病院で行われる医療と遜色のない医療が可能になってきている。看護師等他の職種との連携が重要である。介護保険でも医療保険でもサービスを受けることができる。

「訪問看護」とは、通院が困難な患者や高齢者の自宅に看護師等が訪問し看護ケアを提供し、療養生活を支援するサービス。医師と連携し医療措置を行う他、ケアマネージャーと連携し介護相談にも対応している。介護保険でも医療保険でもサービスを受けることができる。年齢や障害・病気を問わず、自宅での療養を希望する人全てが対象となる。

「訪問歯科診療」とは、通院が困難な患者や高齢者の自宅に歯科医師・歯科衛生士が訪問し、歯科治療や口腔ケアを行うサービス。医療保険が適用される。高齢者にとって口腔ケアは重要である。口の中の汚れが誤嚥性肺炎の原因になったり、高齢になると気管に入った物を吐きだす力が弱くなり、肺炎の原因になったりする。口は、栄養・水分を取り入れ、会話などコミュニケーションするため大切な働きを担っている。口腔ケアを行い、口を清潔にすることで、食事・会話を楽しんでほしい。

「訪問薬剤管理指導」とは、通院が困難な患者や高齢者の自宅に医師等の指示のもと薬剤師が訪問し、薬の正しい飲み方の説明や服用状況の確認、副作用のチェック、患者に合った薬の使い方、飲み方を提案するサービス。薬の飲み過ぎや飲み間違いが

非常に多く発生している。例えば、ぜんそくの薬を飲み過ぎて心臓に負担がかかってしまった人、朝飲む利尿剤を寝る前に飲んでしまつて、夜中に何度もトイレに起きてしまう方もいた。薬は正しく使うことで期待される効果が得られる。薬のことで不安なこと、困っていること、疑問なことがあれば、身近な薬剤師に相談してほしい。「ケアマネージャー」とは、利用者の心身や状況や生活環境に応じた医療・介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、関係機関との連携・調整を行う。このようにさまざまなサービスが連携して、自宅での療養生活を支えている。

自宅でもさまざまなサービスが受けられることを知り、家族で話し合った結果、父は自宅に戻ることを決めた。そして、退院して数か月間は、こうしたサービスを利用してながら、両親は住み慣れた我が家での暮らしを続けることができた。ところが、父は肺炎を繰り返すようになり、しだいに衰弱していった。入院すべきかどうかを医師に相談するが、「入院すれば栄養補給や呼吸を楽にすることはできるが、これ以上の回復は見込めない」と告げられた。母は「子どもたちとよく相談して考えてみる」と答えた。

千葉県の県民アンケートによると、「医療機関に入院して最期を迎えたい」人が76.3%、「自宅で最期まで療養する」という人は31.6%だったが、2012年の「人口動態調査」によると、「病院で最期を迎える」人が76%を占め、実際には多くの人が病院で最期を迎えている。

現代は多くの人が病院で最期を迎えている。しかし、昭和20年代には、ほとんどの人が自宅で亡くなつていった。このように変化したのは、近年、病院で適切な治療を受

けることで、長生きできるようになったという背景がある。しかしながら、現代においても死は免れられるものではない。となると、自宅で死を迎えたいと考えることは自然であり、それがこのような数字に反映していると思われる。そして、今後、超高齢社会を迎え、自宅で最期を迎えたいと希望する人は増加していくと思われる。ただ、自宅で最期を迎えるためには、在宅医療が充実しなければならぬ。病院では最善の医療を受けることができ、痛みや苦しみが解放されるが、一方でさまざまな自由が制限される。自宅では安心・自由度が高く、最善の医療というわけにはいかないが、痛みや苦しみがコントロール可能である。最大の課題は、介護力で家族の協力が必要であるため、在宅介護が可能なケースに限られる。しかし、最近では多くの職種の協力により、一人住まいであつても在宅での看取りが可能なケースが増えている。

かかりつけの医師から入院するか、自宅で療養し続けるかを判断するよう言われたので、急遽家族会議を開いた。入院してさらに治療をするべきか、このまま自宅で療養を続けるべきか、皆それぞれの意見を譲らず、大変もめることになった。

このような家族の中での意見の食い違いは、現実の場面でも珍しいことではない。よく起こるトラブルは、患者自身の今の状態をきちんと理解していない、これまで関わりがなかった他の家族や親類の意見に左右されて混乱が起きてしまうことである。しかし、結論を出すために重要なことは、家族と医療提供側がよく話をすること、そして、家族の代表者が誰かを明確にしておくことである。自分の望む最期を迎えるためには、常日頃から周囲の人と意思疎通を図っておくことが大事である。「子どもは自

分の親をどうやって見送るか」、また、「自分自身がどうやって最期を迎えるか」ということに思いを巡らせながら、日頃から周りの人と話し合つておくことが必要である。

県民アンケートによると、「自分の死について家族と話し合うことについてのためらいや抵抗感」が「全くない」という人が51.9%と、半数以上を占めているにも関わらず、「延命治療を受けたいかどうか」について、「家族と全く話し合ったことはない」と答えた人が64.3%と6割に上り、終末期に受ける医療についてあまり話し合われていないのが現状である。また、「医療の決定に関する指示を書面で示しておくこと」について、4割の人が示したいと答えているにも関わらず、「終末期医療に関する意思表示を書式で用意していない」と答えた人が94.7%に上り、ほとんどの人が用意していないという結果となった。終末期医療に関する意思や自分の生き方、最期の迎え方に希望を示すためには、書面で残すことが一般的な方法である。こうした意思表示のための書式には様々なものがあるが、具体的に「こういうことをしてほしい、してほしくない」という治療の問題に加え、「こう生きたい」「こう過ごしたい」という生き方についての希望を書き加えられるものがよい。書面を残す時の注意点としては、一人で決めないで、家族や主治医、訪問看護や介護の担当者など、関係者とよく話し合つて書くことで、周囲が本人の希望を理解でき、実際の場面でも本人の希望を考慮してもらえる。

結局、父親の「自宅にいたい」という希望と、母親の「最期まで看る」という決意を尊重し、最後まで在宅介護を続けることを決めた。

実際に、本人の意思を尊重し、父親を自

自宅で看取った藤田さんの体験談。80代の父は、腰を痛めて下半身麻痺になり、一年後に大腸がんの肺転移が判明した。当初から在宅での療養を本人が希望しており、最期は往診の医師が診察した後、二時間後に穏やかに息を引き取った。藤田さんが在宅での看取りを選んだ理由は、「このまま家にいたい、自然のまままで暮らしていきたい」と父が望んでいたからである。母の疲れもあり、迷いもあったが、正月に腸閉塞になり入院した時に、髭も剃らずただ一点を見つめる父を見て、この状態で父とお別れをしたくないと思ったのだ。医師に「病院に戻りますか。」と聞かれた母は、迷うことなく父の手を握り、自宅で穏やかに見送る方を選んだ。最期は痛みも起こらず、本当に穏やかだった。ご近所にも父の死に顔を見て、「こうやって死にたい」と言っていて、実際に自宅で亡くなった人もいる。在宅での看取りを選んだことで、父とたくさん話ができて、普段は母を褒めない父が感謝の言葉を残すなど、意外な素顔も知ることができた。死の恐怖を口にしたこともあるが、趣味の絵に囲まれながら、「ここはお父さんの好きなものばかりだろ。だからここにいと落ち着くん」と言っていた。「死を前にしても、普通の暮らしをずっと続けることが大切なんだ」と、私たちは父から教わった。大変なことがたくさんあったが、多くの人に助けていただき、父の希望を叶えることができて、私も母も本当に良かったと思っている。

一年後、父は希望した通り、自宅で亡くなることができて幸せだったと思う。自宅での父の生活は、多くの人の協力があったからこそ実現できた。お世話になった皆様には本当に感謝している。

人生の終わりの時期をどのように過ごし

たいかは人それぞれである。大家族、高齢夫婦、一人暮らし、とそれぞれの場合の過ごし方がある。大切なのはどのような最期を迎えたいのかを自分なりに考えておくこと、そして、それを実現するために、周りの大切な人、支えてくれる人とよく話し合い、自分の考えや思いを共有することである。人生の終わりは誰にでもやって来る。あなたも家族や大切な人たちと一緒に考えてほしい。

このDVDの内容が、皆様の今後の参考になればと思います。今回の講演のテーマとさせていただきます。さらにもう少し病気になることについて、最近話題になっていることについて、いくつか申し上げておきたいと思えます。「メタボ」、「メタボリックシンドローム」という言葉がありますが、これは若い時からの生活習慣のせいで年を取ってから肥満となり、さまざまな習慣病になりやすい状態と言えます。内臓脂肪が動脈硬化疾患に悪い影響を与えます。「メタボ」の診断基準としては、内臓脂肪をお腹のところで測って100平方cm以上ある方、また、へその高さでお腹の周りを測って、男性なら85cm以上、女性は90cm以上ある方が治療の対象となります。その中で、脂質代謝障害のある方、また、悪玉コレステロールに関してはメタボに関係なく脳梗塞や動脈硬化疾患になりやすいのです。が、そうした太っている方の中で、中性脂肪150以上、善玉コレステロールが40以下で少ない方も動脈硬化疾患が進行しやすいです。そうした場合、そうした脂質代謝障害があるかどうかを考えてみてください。そして、やはり「血圧」が問題になります。最高血圧が130以上、最低血圧が85以上のどちらかの症状があるかどうか、また両方

あるかどうか問題になります。さらに「糖代謝」が問題で、朝起きたときの血糖値が110mg/dl以上あると、将来的にも糖尿病になりやすいです。そういった条件がそろいますと、メタボリックシンドロームと診断されます。私が外来で診療している、血圧の高い方、あるいは糖尿病の方、コレステロールが高い方というように、個々に課題を持っておられる方がいらっしゃいます。それらを全て合わせ持っているという方も結構いらっしゃいます。そして、メタボのために食事制限をして痩せなければいけないということで、朝の食事を抜いたり、甘いものが食べられなくなった方も多いですね。

また、高齢者の間で問題になっている、「フレイル」という言葉があります。今年の5月に日本老年医学会で提唱されたばかりの新しい言葉で、筋肉が痩せてしまったり歩けなくなってしまう状態です。特に足の筋肉が落ちて歩けなくなり、介護が必要になってしまう状態のことを言います。「虚弱」と訳されていますが、日本語に適切な言葉がないため、「メタボ」のような覚えやすい言葉として統一しようと、最近提唱された言葉です。早い段階で発見し、適当な食事療法を行い、特に筋肉を増強させるようなタンパク質の多いものを摂取し、寝たきりにならないようにしようという動きが起っています。もう一つは「サルコペニア」と言っていて、「フレイル」と同じような意味ですが、筋肉が弱って歩けなくなるのです。これを見つめるには、「指輪つかテスト」を行います。親指と人差し指で輪つかを作り、ふくらはぎの一番太いところを輪で囲みます。輪の厚さがふくらはぎよりも大きければ「サルコペニア」が疑われます。将来、介護が必要になるので気をつけよう

いうことで提唱されています。

また、「熱中症」も、昨日、全国の統計で1300人を超え、そのうち3名の方が亡くなられたと、テレビで報道がありました。特に、蒸し暑い高温の中で作業をしていたり、室内にいても閉め切ったような部屋にいたりすると、高齢者は熱中症にかかりやすいです。昔、欧米から入ってきた言葉で、「熱射病」や「熱けいれん」、「日射病」などという言葉がありました。現在は、日本では、患者さんの症状を診て、「1度、2度、3度」と分けて判断し、全てを総称して「熱中症」と呼ぶことになりました。「1度」は、その場で少し涼しい風に当たったり、水で冷やしてあげたりして治まる程度、「2度」は、病院で治療しなければならぬ、「3度」は、そのまま放っておくと命に関わるので、すぐに有償病棟に入り点滴を打つ等、大量の輸液をし、心臓・腎臓を保護してあげないといけない、というような判断をしています。

最後に「タバコの害」についてお話ししたいと思います。タバコが色々な病気の原因になるということは、昔から言われていることです。特に、肺がんを始めとするさまざまな病気の原因となります。タバコを吸いますと、目に見えるような大きな粒子のもの、全く見えない気化したものなど、2000から3000くらいの有害物質を吸い込むこととなります。特に最近問題になっているのは、受動喫煙と言っていて、周りの人が吸ったタバコの副流煙を吸い込むことです。フィルターを通さないで、有害物質が10倍、20倍になり、被害が大きくなる。そこで公の場所では、タバコが吸えない





ピアノ演奏する柏戸 正英氏

でも、部屋の中に入っている人数が部屋の排気能力を超えてしまうと、吸い込む量も多くなり、非常に危険です。また、タバコによる病気と言えば、やはり癌です。肺がんだだけでなく、男性であれば、「前立腺がん」や「胃がん」、「食道がん」、女性であれば「子宮がん」や「乳がん」など、喫煙していると吸わない人に比べて、5倍から10倍以上に危険性が高まると言われています。ニコチンによって、NK（ナチュラルキラー）細胞、(リンパ球の中でガンを抑える細胞)の力がなくなってしまうために、ガン細胞が増えてしまうということが起こるためです。以上、「メタボリックシンドローム」、「フレイル」、「熱中症」、「タバコの害」、これらについては、頭の中にとどめておいていただきたいと思えます。

講演後、柏戸氏が所属する男性混声合唱団ハーゲー(HG)メンネルコールによる「月光」、「落葉松」、日本民謡メドレーの合唱をCDで鑑賞しました。そして、最後に氏によるシューマンの「ユモレスク」のピアノ演奏を聴き、講演会を終りました。

## 懇親会



安芸高校歌唱



旧高女校歌唱



努力剛健♪旧中校歌唱



本部懇親会集合写真

## 社会に貢献する 同窓生の活躍

### 平成二十六年 安芸市民賞受賞

安芸市の市政・産業・教育文化・公共福祉などで功績の顕著な人物や、市民の模範となる行為があった人物を表彰する平成26年度「安芸市民賞」に本校同窓生井上眞喜子氏が選ばれました。

長年にわたる保健衛生・社会福祉へのご貢献に対する同賞受賞を、心からお祝い申し上げます。



井上 眞喜子氏  
(昭和31年3月卒7期生)

井上氏は長年にわたり安芸市民生委員・児童委員として社会福祉行政に関わる傍ら、安芸市連合婦人会会長や安芸市健康づくり婦人会会長などの要職を務め、地域女性の充実した生活づくり・生きがいづくりに尽力されました。

また、市民に対し健診や生活習慣病予防の重要性を積極的に啓発するなど、女性の地位向上や地域福祉の充実に寄与されてきました。



# 各支部との交流

◆同窓会本部総会  
平成二十六年七月二十六日(土)  
会場 ホテルタマイ (安芸市)

◆近畿支部同窓会総会  
平成二十六年七月六日(日)  
会場 大成閣  
(大阪府中央区東心斎橋)

◆東京同窓会総会  
平成二十六年十一月十五日(土)  
会場 祢保希 赤坂  
(東京都港区赤坂)

◆東海支部同窓会総会  
平成二十七年二月八日(日)  
会場 アイリス愛知  
(名古屋市中区丸の内)

本年度も本部、各支部同窓会総会をとおり、たくさんの方の同窓の皆様の交流が行われました。

総会後の懇親会では、旧制安芸中学、安芸高等女学校、安芸高校歌をそれぞれが合唱し、旧交を温めました。全国各地で社会に貢献される同窓の皆様の今後益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

来年度も、全国それぞれの支部で同窓の集いが予定をされております。隔年開催の高知支部同窓会も開催の予定です。たくさんの方の皆様のご参加を期待しております。

近畿支部同窓会総会



同窓会本部総会



東海支部同窓会総会



東京同窓会総会



平成 26 年度 各支部代表

東京同窓会長	柏戸 正英	高普 2 (S26)	〒 260-0854 千葉県千葉市中央区長洲 2-21-16
近 畿 支 部 長	水上 忠義	高普 2 (S26)	〒 638-0811 奈良県吉野郡大淀町大字土田 507-320
東 海 支 部 長	竹内 直彦	高普 9 (S33)	〒 507-0826 岐阜県多治見市脇之島町 6-67-14
高 知 支 部 長	半田久米夫	高普 7 (S31)	〒 780-0034 高知市三園町 84

### 高知県立安芸高等学校過去3年間の合格状況

平成 23 年度 合格者数			平成 24 年度 合格者数			平成 25 年度 合格者数		
国公立大学・大学校 (26)			国公立大学・大学校 (24)			国公立大学・大学校 (22)		
高知大学 5	横浜国立大学 1	名古屋大学 1	高知大学 9	横浜国立大学 1	広島大学 1	高知大学 8	神戸大学 1	横浜市立大学 1
高知県立大学 6	岡山大学 1	電気通信大学 1	高知県立大学 3	岡山大学 1	茨城大学 1	高知県立大学 6	岡山大学 1	
高知工科大学 4	山口大学 1	三重大学 1	高知工科大学 4	愛媛大学 1	鹿児島大学 1	高知工科大学 5		
埼玉大学 1	九州工業大学 1	下関市立大学 1	島根県立大学 1	水産大学校 1				
島根県立大学 1	鳥取大学 1							
関東・関東以北地区私立大学 (10)			関東・関東以北地区私立大学 (12)			関東・関東以北地区私立大学 (7)		
東京理科大学 2	東京電機大学 1	東京経済大学 1	日本大学 3	北里大学 2	神奈川工科大学 1	専修大学 1	大東文化大学 1	千葉経済大学 1
高千穂大学 1	日本橋学園大学 1	東京富士大学 1	東京国際大学 1	工学院大学 1	東海大学 2	東海大学 2	武蔵野大学 1	流通経済大学 1
流通経済大学 2	共立女子大学 1		相模女子大学 1	流通経済大学 1				
中京・甲信越地区私立大学 (1)			中京・甲信越・北陸地区私立大学 (9)			中京・甲信越・北陸地区私立大学 (5)		
静岡産業大学 1			金沢工業大学 6	大同大学 3		金沢工業大学 2	岐阜経済大学 1	名古屋学院大学 1
						山梨英和大学 1		
関西地区私立大学 (32)			関西地区私立大学 (68)			関西地区私立大学 (15)		
関西大学 2	近畿大学 2	大阪経済大学 2	関西大学 4	立命館大学 2	関西学院大学 1	同志社大学 2	関西大学 3	立命館大学 1
大阪工業大学 2	大阪産業大学 1	大阪薬科大学 1	龍谷大学 2	京都橘大学 3	神戸女子大学 9	近畿大学 2	龍谷大学 1	京都外国語大学 2
同志社女子大学 1	神戸女子大学 1	帝塚山学院大学 1	京都精華大学 1	大谷大学 4	佛教大学 3	神戸学院大学 2	桃山学院大学 1	成安造形大学 1
京都学園大学 1	大谷大学 3	奈良大学 2	京都光華女子大学 1	流通科学大学 7	大阪経済大学 1			
京都外国語大学 5	佛教大学 2	追手門学院大学 3	京都ノートルダム女子大学 2	武庫川女子大学 3	大阪産業大学 4			
龍谷大学 1	神戸学院大学 1	森ノ宮医療大学 1	近畿大学 2	天理大学 1	関西外国語大学 2			
			甲南女子大学 9	神戸学院大学 3	奈良大学 1			
			帝塚山大学 3					
中国・四国地区私立大学 (46)			中国・四国地区私立大学 (44)			中国・四国地区私立大学 (33)		
岡山理科大学 5	就実大学 2	四国学院大学 5	岡山理科大学 15	就実大学 1	四国学院大学 6	松山大学 8	川崎医療福祉大学 1	岡山理科大学 6
広島国際大学 2	吉備国際大学 1	美作大学 3	松山大学 5	くらしき作陽大学 2	倉敷芸術科学大学 2	福山大学 4	徳島文理大学 7	四国大学 6
安田女子大学 1	四国大学 2	福山大学 1	安田女子大学 2	四国大学 3	福山大学 3	広島経済大学 1		
徳島文理大学 8	川崎医療福祉大学 4	倉敷芸術科学大学 1	徳島文理大学 4	川崎医療福祉大学 1				
松山大学 10	山陽学園大学 1							
九州地区私立大学 (1)			九州地区私立大学 (0)			九州地区私立大学 (3)		
九州産業大学 1						九州共立大学 1	西日本工業大学 2	
短期大学・短期大学校 (23)			短期大学・短期大学校 (22)			短期大学・短期大学校 (17)		
高知学園短期大学 14	徳島文理短期大学 1		高知学園短期大学 16	徳島文理短期大学 1		高知学園短期大学 11	作陽音楽短期大学 1	湊川短期大学 1
川崎医療福祉短期大学 1	高知短期大学 3		大阪成蹊短期大学 1	高知短期大学 1		関西外国語短期大学 1	ポリテクカレッジ高知 2	農業大学校 1
神戸女子短期大学 2			神戸女子短期大学 1					
関西女子短期大学 1			松山短期大学 1					
四国大学短期大学部 1			四国大学短期大学部 1					
各種・専門学校 (23)			各種・専門学校 (28)			各種・専門学校 (42)		
大原デザインアート 1	併行学習ファッションビューティ 1	高知リハビリテーション 1	国立高知病院付属看護 2	高知県立幡多看護 2	龍馬看護ふくし 1	愛知県立総合看護専門学校 1	宇和島看護専門学校 1	高知病院付属看護専門学校 2
高知医療学院 2	大阪ビジュアルアーツ 2	関西美容 1	高知リハビリテーション 1	土佐川ビテックカレッジ 3	四国医療工学 1	高知リハビリテーション学院 3	土佐リハビリテーションカレッジ 2	幡多看護専門学校 1
四国医療工学 1	東京美容 1	東京ビジュアルアーツ 1	大阪医専 1	河原医療大学校 2	大阪ビジュアルアーツ 1	四国医療工学専門学校 4	四国中央医療総合学院 1	辻製菓専門学校 1
土佐リハビリテーションカレッジ 1	龍馬ふくし 1	ヴェールルージュ美容 1	高知理美容 1	四国職業能力開発大学校 2	高知職業能力開発短大校 1	龍川リハビリテーション専門学校 1	エコー社大阪専門学校 1	大阪子ども専門学校 1
四国医療 1	大阪ビューティーアート 1	大原学園 1	平成福祉 1	パンタソンデザイン研究所 1	岡山ビジネスカレッジ 1	RKC 調理師学校 1	大阪ビジュアルアーツ専門学校 1	岡山理科大学専門学校 2
神戸医療福祉 1	東京デザイナー学院 1	公務員学院 1	公務員学院 2	岡山理科大学専 1	大阪コミュニケーションアート 1	関西美容専門学校 1	高知県医師会看護学院 1	高知公務員学院 1
高知情報ビジネス 1	国際ビューティカレッジ 1	順正高等看護 1	ECC 国際外語 1	札幌公務員受験学校 1	大阪こども 1	高知情報ビジネス専門学校 6	高知福祉専門学校 1	高知ペットビジネス専門学校 1
						高知理美容専門学校 1	龍馬看護ふくし専門学校 3	国際ファッションビューティカレッジ 1
						東洋公衆衛生学院 1	日本工学院八王子専門学校 1	文化服装学院 1
公務員 (5)			公務員 (5)			公務員 (4)		
自衛隊 3			自衛隊 3			自衛隊 3		
安芸市消防 1			安芸市役所 1			高知県警察官 1		
香南市消防 1			高知県職員 1					
就職 (5)			就職 (8)			就職 (15)		
【県内】	【県外】		【県内】	【県外】		【県内】	【県外】	
有限会社木下建設 1	株式会社 東洋製作所 1		社会福祉法人ふるさと自然村 1	熊五郎 1		株式会社 ウィル 1	土佐ロイヤルホテル 1	
JA とさあき農業協同組合 1	株式会社 矢尾卯 1		ウッドクリーン 1			ホテルタマイ 1	別役林業 株式会社 1	
	株式会社 岡住 1		社会福祉法人香南会 1			社会福祉法人 香南会 1	株式会社 玉井 1	
			株式会社土佐くろしお鉄道 1			株式会社 三翠園 1	株式会社 高知銀行 1	
			株式会社フタガミ 1			株式会社 アバ(kizuna) 1	株式会社 プログレス 1	
			株式会社城西館 1			パークショップファミラ 1	菓子工房 コンセルト 1	
			芸西オルソクリニック 1			株式会社 よどや 1	JA とさあき農業協同組合 1	
						社会福祉法人 守里会 1		